

分社

分社グループ会報

《発行元》
分社理念研究所 事務局
〒141-0031
東京都品川区西五反田8丁目
11番21号五反田TRビル
TEL 03-5496-1810
FAX 03-5496-1881

新年度分社グループが目指すもの



酒井代表

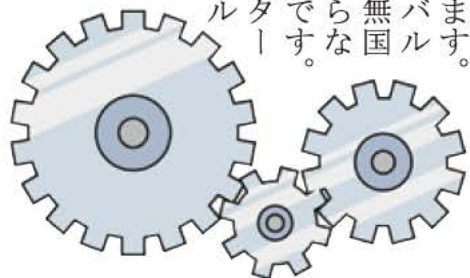
安倍政権の誕生と共に経済は円安・株高とこれまでの20年の動きとは全く異なる展開になってきました。足元の事業では必ずしも好影響が顕著というわけではありませんが、これまで暗いトンネルの中にあつたことを考えれば、まずは素直に期待もし、静かに研ぎ蓄えてきた技術や力を発揮する雄飛の時代に

したいと思いません。分社グループは大手企業グループのように親会社が支配するピラミッド型の形態とは違います。組織形態のイメージは、マークを見ていただければお判りのように理念という柱に同心円型に存在するグループです。（右下図参照）

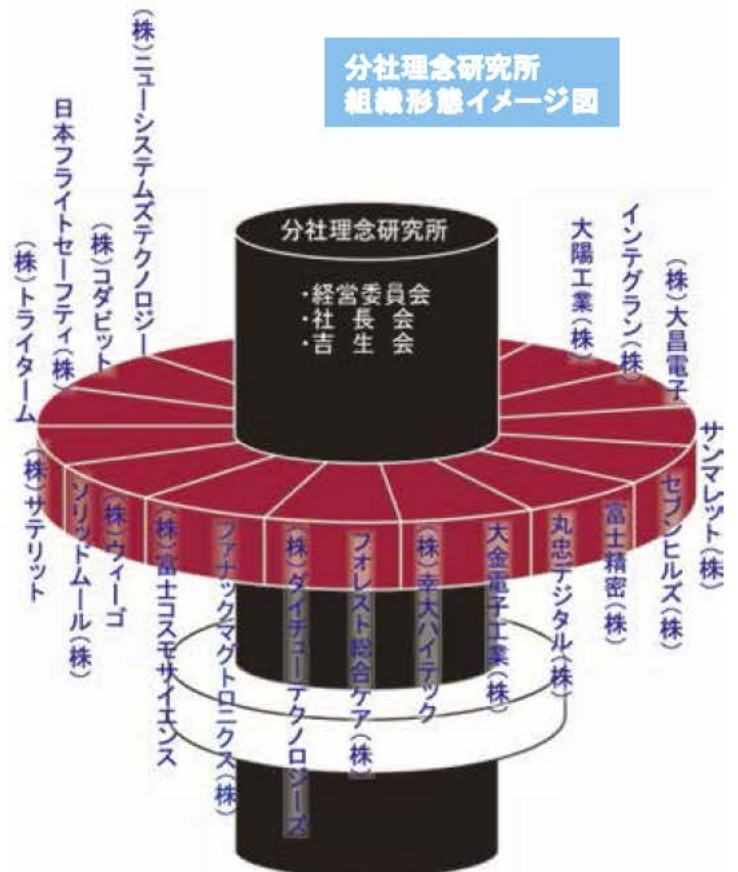
シャフトに繋がる歯車の形で会社間に上下はありません。この歯車は働き続けて世の中に役立つための物です。各会社の発展はその会社自身の責任であり、グループとして

の売り上げも500億を下回っています。それでも雄飛の時を待つように、各社はこれまで実力を養ってきているように感じます。今年度はその実力が発揮される年であり、次代に繋いでゆく大切な時期であると思っています。

組織形態の特徴とともに重要なことがもう一つあります。会社は経済活動を行う機械であり、会社の成長発展で個人の豊かさを実現するものであります。さらにもう一つの重要なことは「公の精神」の志を持ち続けることでもあります。マークを見ればわかっ



分社理念研究所 組織形態イメージ図



分社グループ 社長会開催



社長会勉強会講師
㈱AGSコンサルティング 和田氏

平成25年3月14日（木）コートヤード・マリ
オット銀座東武ホテル
において分社グループ
社長会が開催されまし
た。

開催にあたり篠崎会
長より、きつい状況が
続いていますが何とか
乗り切って、一緒にな
って頑張っていきまし
ようと信念のこもった
挨拶が述べられた後、
連絡報告事項終了後、
㈱AGSコンサルティング
取締役MS事業本
部長の和田博行先生（
税理士）をお迎えして
「再生コンサルタント
から見た企業経営」と
題し勉強会が開催され
ました。勉強会終了後、
酒井代表より、
今はグループ
全体が苦戦を
強いられてい
ますが、新年
度は徐々によ
くなっていく
と思います、
頑張っていき
ましようとの挨
拶が述べられ、
社長会は閉会
しました。



㈱ウィーゴ
齊藤浩一社長就任
（ソリッドモール㈱社長兼任）

平成25年4月、株式会社
ウィーゴの社長に齊藤
浩一氏が就任されまし
た。齊藤社長はソリッドモール株式
会社の社長も兼任いたします。



11 社会

平成25年3月14
日（木）社長会終了後、
11社会が開催され
ました。
分社理念研究所木
村副代表が座長を務
め、決算を前に、ご
参集いただいた各社
代表取締役より今後
の見通しや資金繰り、
自社で抱えている問
題・課題等について
話し合われました。



経理・税務・金融部会



経理・税務・金融部会
の様子。グループ各社
より32名が参加。

分科会開催

平成25年3月5日
（火）五反田ゆうぼう
とにおいて経理・税
務・金融部会が開催
されました。平成25
年度の会計・税制改
正点とキャッシュフ
ロー分析などについ
て事例研究を交えな
がら学びました。講
師はグループ顧問
（会計士）の野村聡先
生。
参加者は練習問題
に取り組み、専門知
識をより深めた内容
となりました。



新入社員

アベノミクスによる景気の回復が期待される中、この春
新入社員を採用した会社は、調査協力を依頼したグループ
内18社中10社。

昨今の就職事情や雇用制度の改正等めぐるしい変化と
不透明な時勢は依然続きそうですが、私たち分社グループ
の社員一同は野に咲いたんぼぼのように大地につく根を
生やし、たくましく生き抜いていきたいものです。

今後の成長と共生を胸に一丸となって頑張らましよう。

| 新入社員数 (グループ全体) | 男性 | 女性 |
|-------------------|-----|-----|
| | 37名 | 19名 |

| (男性) | | (女性) | |
|--------|------------------|------|------------------|
| 正社員 | 契約・嘱託・ パート・派遣 | 正社員 | 契約・嘱託・ パート・派遣 |
| 1,497 | 200 | 395 | 235 |
| 1,697名 | | 630名 | |

平成25年度 経営方針発表



インテگران株式会社

チャレンジ経営宣言

電源グループ: 売上高20億円へのチャレンジ
装置グループ: 自社製品の販売へのチャレンジ
基板グループ: 高難易度基板の売上比率を6割以上にするチャレンジ



代表取締役
関山浩一

経営方針

- ・組織の求心力の更なる向上を目指す
- ・全社員、GOODコミュニケーターであれ
- ・あらゆる仕事は誰かへのサービス業である

重点施策

- ・社員教育への積極的な取り組み(技能検定 電子機器組立て等)
- ・高度アナログ技術者の獲得

株式会社大昌電子

チャレンジ経営宣言

先端技術・要素技術を強化し、特徴製品を開発する



代表取締役
篠崎尚利

経営方針

- ・新規案件にお客様と開発段階から、静かな協業体制を推進、強化する
- ・顧客構成と商品構成のバランスで安定受注、得意を生かす
- ・難しい製品が小回りよく、高品質で造れる生産工場を構築する
- ・財務力、会社の土台を強化する

重点施策

- ・国内市場でのシェアアップと海外・アジア圏への販売強化
- ・多様化する製品へのスピード対応と栃木工場・岩手工場の主要工程の共有化
- ・有利子負債の削減と自己資本の増強(利益確保)

分社グループ 新事業年度 スタート

平成25年度

売上目標 435億円
利益目標 11億円
(グループ全体)

新しい事業年度が始まり、今年もグループ各社より平成25年度の経営方針・重点施策・今期チャレンジしたいこと！を発表していただきましたのでご紹介いたします。

大陽工業株式会社

チャレンジ経営宣言

人(人材)、モノ(製品)、金(財務)全てにおいてレベルアップにチャレンジし、顧客に魅力ある企業となる。



代表取締役
酒井陽太

経営方針

外部環境に左右されない経営基盤を構築するために顧客ニーズを先取りした新技術と高付加価値製品の開発、それを売込む営業力の強化を図る。

重点施策

- ・現場力、営業力の強化
- ・人材の確保と育成
- ・海外調達の本格化と海外への販売挑戦

セブンヒルズ株式会社

チャレンジ経営宣言

- ・工場の拡張
- ・人員増
- ・全経理事務の社内化



代表取締役
鎌内 勉

経営方針

もったいないをビジネスに

重点施策

- ・徹底して無駄をなくし、効率化を図る
- ・「明るい職場」及び「やりがい」のある職場
- ・情報の収集

富士精密株式会社

チャレンジ経営宣言

- 全てのことに對して “すぐやる、前向きにやる、最後までやる”
- 多能工の育成

経営方針

Value Up / Forward

重点施策

- 新市場への参入
- 生産手法の変革
- 提案力の強化



代表取締役
山田敏明

大金電子工業株式会社

チャレンジ経営宣言

特殊業務の拡大(特殊機器の設置、試験、改修等)・新規分野企画

経営方針

顧客満足の向上(CUSTOMER SATISFACTION)

代表取締役
本間 修

重点施策

- 受注力強化
- 収益力強化
- 特殊業務の拡大



丸忠デジタル株式会社

チャレンジ経営宣言

- 時代に応じた新しい発想の金型システムの提供。
- 外部機関に拠る技術者の再教育。

経営方針

高精度な設計、加工、製作の技術を磨きつつ顧客サービスを徹底する。

重点施策

- 新しい発想のもと今までに無い金型開発、完成(熱を使った成型加工)
- 当社設備の有効活用の為、部品加工受注の促進
- 大手メーカーの目の届かないスキマを見つけ事業化をする



代表取締役
増島清治

ダイチューテクノロジーズ株式会社

チャレンジ経営宣言

- HDD/SDDサービス事業の立ち上げ及び拡大を図る
- 政府が進める各種産業支援(補助金)に対して果敢に申請する
- エネルギー分野からの受注拡大を図る

経営方針

- 営業力、開発力、製造力、調達力を向上させる
- Q,C,Dの向上を図る
- 顧客に信頼と安心をお届けする

重点施策

- 営業優先、ビジネス優先の組織にする
- 製品原価を下げる。(限界利益率30%)
- 資格制度の充実と資格を取る(情報処理、製造技術、開発技術)



代表取締役
真道保美

フォレスト総合ケア株式会社

チャレンジ経営宣言

新規事業の開拓を毎年1件以上目標に営業活動します。

経営方針

私どもは、「安心とやさしさ」を基本理念として、『医・食・住』さまざまな局面においてお客さまの立場を第一に考え、感謝・感激・感動を従業員全員と共有し、お客さまに無形の利益を提供し、常にオリジナリティーを意識した事業の展開を図って参ります。

重点施策

- 保険の無料診断会を定期的に行い新規掘り起こしを図る
- 保険会社の新規獲得保険金額を必達し、団体契約を死守する
- 新規事業開拓を営業活動の一環として行動する



代表取締役
平岡敏雄

株式会社トライチーム

チャレンジ経営宣言

医療ISOを取得し、医療系案件に対応するための技術の習得と蓄積に努めます

経営方針

Value Up / Forward

当期も企業価値、個人の価値、製品の価値向上のための施策を積極的に実施し、お客様から選ばれる企業を目指します。

重点施策

- 信頼性の向上
- 生産効率の向上
- 顧客の深掘と拡大



代表取締役
菅 正憲

ファナックマグトロニクス株式会社

チャレンジ経営宣言

Frontier 2013

過去からの延長線上に今後の成長・成功はない。
 当社のノウハウ、技術、情熱を最大限に活用し、「制御」を取り巻くトータルソリューションをお客様にお届けするため、他社の追随を許さない新しい高付加価値サービスを創造し、お客様の成功を支援する最強のパートナーとなることを使命である。
 当社は最先端を走る新たな市場の開拓者となることを目指す。

経営方針

モノづくりの先端へ
 グローバルエンジニアリング会社



代表取締役
 菅 正彦

重点施策

- ・ビジネス拡大
- ・体制強化
- ・企業レベルの向上

株式会社ウィーゴ

チャレンジ経営宣言

赤字体質の改善(売上の拡大と経費削減)

経営方針

経営資源の集中(販売業務への特化)



代表取締役
 齊藤浩一

重点施策

- ・取扱商品の拡大
- ・PT板製造業外へのマーケット進出
- ・海外業務(輸出)の拡大

株式会社幸大ハイテック

チャレンジ経営宣言

GP4(生産ラインシミュレーター)と自社製品であるD-CELL(3Dセル生産システム)を駆使して、見えるフレキシブル生産システム(VM-FMS)を構築し、受注変動に対応しながら生産効率向上、コストダウン、収益性向上を実現する生産システムで日本のモノづくりに貢献する。

経営方針

グローバル競争に勝ち残る為に、スピード感を持って全員参加で「ほんものの経営革新」を定着させ、驚きと感動を与える、魅せる生産工場を目指す。その為に、モノづくりの原点に戻り今まで培った設計力を駆使して、基板実装技術からメカトロ制御、医療機器へとカスタマイズし、設計力とモノづくり力で製造業のサービス化にシフトして勝ち残る。



代表取締役
 根本武夫

重点施策

- ①ブランド力向上(1ヶ月製販の実践)
- ②高効率生産工場(FMS構築)
- ③5S・VMの徹底(経営革新活動の定着)

株式会社ニューシステムズテクノロジー

チャレンジ経営宣言

人材の教育に注力したい。

経営方針

内外の環境を改善し、定常的利益体質化構造を目指す。



代表取締役
 熊谷 修

重点施策

- ・人材教育
- ・社内体制の強化
- ・営業力強化



展示会出展

平成25年1月16日(水)~18日(金)
 (於): 東京ビッグサイト <同日開催>

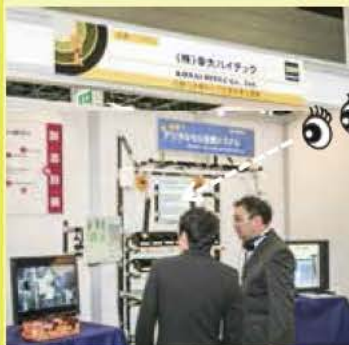


株式会社
 幸大ハイテック

第42回インターネット
 コンジャンパン
 中小機構ゾーン出展

大陽工業株式会社

第14回プリント基板EXPO出展



幸大ハイテックはデジタル生産システム(D-Cell)をメイン展示。幸大が開発したシステムは大手製菓メーカーに起用され、コンビニエンスストア等で限定販売のあのチョコレート菓子の製造ラインで非常に高い技術力を発揮しています。

大陽工業は大電流基板・高放熱基板など自社の特化した製品を多数展示。ブースを訪れた来場者の関心をひときわ強く引きつけていました。



株式会社コダビット

チャレンジ経営宣言

「医療・福祉」分野のサービス業へ参入し、人材紹介業の拡大と共に雇用の拡大を図り、売上拡大を目指し、そして雇用創出に貢献する。



代表取締役
根本武夫

経営方針

経済縮小が当たり前の国内製造業に代わる受け皿となっているのがサービス業であり、中でも「医療・福祉」分野の就業者数は増加している。しかも非正規労働者比率も高くなっており、ビジネスチャンスがある。人材紹介業の拡大と共に製造業の分野から「医療・福祉」分野へシフトし、人材育成を一つの事業目的とし、売上アップを目指す。

重点施策

- ①すべては、お客様の事業発展のために
- ②多能工化(仕事に人を付ける)
- ③人材育成

日本フライトセーフティ株式会社

チャレンジ経営宣言

- ・業務が急激に拡大しているのに対応し、操縦職、整備職、営業職の人員拡充をはかり、安全運航の対策を徹底する。
- ・高付加価値の商品をさらに開発し、市場に提供する。
- ・航空各社と連携し、人員不足に対応できる操縦士養成システムを各社と連携して構築し、リーダーシップを取る。



代表取締役
山田元昭

経営方針

航空業界に優秀な操縦士を送り込むことにより、航空業界の発展を基礎から支える

重点施策

- ①優秀かつ誠実な訓練で、訓練生の信頼を得、確実に卒業生の就職を支援して、その評判を上げる。そのことが顧客確保の最大の近道であると、社員意識を徹底させる。
- ②確かな技術と経験に合わせ、基本に忠実な運航で安全を確かなものとし、無事故記録を更新。
- ③好調の夜間遊覧飛行、航空写真撮影をサービス業としての観点より、顧客サービスをより一層充実させ、さらなる向上を目指す。

株式会社サテリット

チャレンジ経営宣言

昨年度は3台あるワイヤーカット放電加工機のうち1台の入れ替えを行いました。今年度さらにもう1台の入れ替えを行い、精度、スピードともに向上させたいと考えています。また、人材の面では営業、製造で各1名の採用を行い世代交代を進めていくことを目標にしています。



代表取締役
矢澤克弘

経営方針

産業機器関連の金属部品については、高精度化、極小化がここ数年ますます要求されてきています。こういった流れの中で、当社は最先端の設備を駆使し、加工技術のさらなる向上を追求していくことにより顧客のニーズに応えていき、事業の発展を目指していきます。

重点施策

- ・新規得意先の開拓
- ・加工技術の向上
- ・コスト削減

富士コスモサイエンス株式会社

チャレンジ経営宣言

- ・営業の新入社員2名をしっかりと育成する
- ・小単位商品開発の構築を進める
- ・平成26年9月着工を目標に新社屋建設の準備を進める

経営方針

激変する市場環境に対応して行くため、業務効率の向上と機動力の強化を計り、機敏に活動できる体制を構築していく



代表取締役
佐藤龍治

重点施策

- ・買取比較表データベースを整備し、買取先の分析営業を計る
- ・見本市出展を通して、一般市場の顧客開拓及び販売拡大を計る
- ・ギフト市場向けの「遊べるサイエンス商品」の開発を計る

中小企業IT経営力大賞2013

株式会社ダイチュー テクノロジーズ

【IT経営実践認定企業に認定】

平成25年2月、株式会社ダイチューテクノロジーズが「中小企業IT経営力大賞2013」IT経営実践認定企業に認定されました。



「中小企業IT経営力大賞2013」とは：

経済産業省が優れたIT経営を実現し、かつ、他の中小企業がIT経営に取り組む際に参考となるような中小企業等を経済産業大臣等が表彰するもので平成19年度に創設されました。平成24年度は第6回目となります。受賞企業およびIT経営実践認定企業・組織にはロゴマーク(左上)の使用が認められます。

ダイチューテクノロジーズは業務管理システム(D-Net)を構築、3年程の間に様々な施策に取り組み、効果を上げました。その活動内容と実績が評価され今回の認定に結びつきました。今後の更なる発展に期待が高まります。おめでとうございます！